

市民参加プラットフォームを活用したオンラインによる意見聴取の概要(第1弾)

【参考資料1-1】

募集期間:令和7年10月8日(水)～10月31日(金)

募集テーマ:令和9年度からの「将来ビジョン・岸和田」第2期基本計画策定にあたり、みなさんの声をお聞かせください。基本目標ごとに、「こんなまちになっていたらいい」を具体的に考えてみてください。

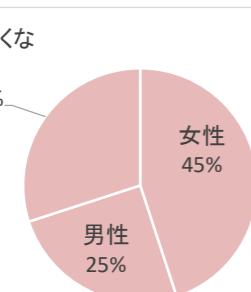
参加者数:47名、意見総数:73件(なお、下記では、意見を細分化して記載しています。)

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	個人や家庭の役割(一部抜粋)	行政の役割	(意見抽象化)	(意見概要)
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生み、育てられている	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	●子育てに関するイベントなどに積極的に参加するとともに、SNSを活用して情報を発信する	●妊娠を望む家庭や子育て家庭の経済的支援を行う	保育料無料化や子育て世帯への経済的援助が充実したまち	子育て世帯への経済的支援を充実させる 第二子も保育料無料にする 子育て支援が希薄であり、岸和田に住むメリットが感じられない。 納税者へ支援が不足している。
	働きながら子育てができるいる	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	●地域活動に参加し、子育てや教育について話せる場をつくる ●子育てに悩んでいる人が、子育て経験のある人からサポートを受けられる環境をつくる	●子育て家庭が安心して相談できる場や機会の提供、子育て情報の発信を行う	子育てをする親や子どもを支える仕組みをもつまち	親と一緒に子どもを支える仕組みが必要 子どもと向き合えるように親を支える仕組みが必要
			●ニーズに応じた保育や学童保育の量の確保を行う	保育園・児童館などの施設や支援制度の整備されたまち 共働き以外の家庭や納税者への公平な保育機会が確保されたまち	保育施設や保育支援制度の充実が必要 共働き以外の家庭の子どもも保育園に入れるようにする	
	子どもの健康と安全が保たれている	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	●家庭で安全確保のための行動や知識を教える	●地域で安心して遊べる環境を整える	公園の入りや児童館・キッズルームの開館時間が改善されたまち 幼児から小学生が遊べる場所が充実したまち	公園の入りや児童館・キッズルームの開館時間を改善する 幼児～小学生が遊べる場所をもっと増やす
			●学校行事に積極的に参加する ●学校施設を大切に使う ●学校教育に关心をもち、教育について家庭で考える	●児童生徒が安全かつ快適に学べる学校施設環境を整える ●教育行政を円滑かつ効果的に運営し、活力ある学校づくりを進める	魅力的で安心して通わせたい学校があるまち	魅力的で安心して通わせたい学校が必要 教育環境で他の市より優れているところをつくる 荒れている学校への対応や生活指導方針の確立したまち 小中学校の荒れに対して教育委員会の対応が不十分
	子どもの個性と能力が豊かに育まれている	地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	●近所であいさつや声がけをする ●親子で地域活動に参加する ●思いやりや自主性・責任感を育む家庭をつくる	●学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上を図る 改定案) ●学校と地域が一体となって家庭と連携し、地域の教育力の向上を図る ※家庭との連携が重要なため	子どもが育ち、学びを支える家庭や地域の環境が整ったまち 教員・児童・保護者の規範意識が向上したまち 善悪の判断や行動の教育の充実したまち 尊敬できる大人や褒める文化、前向きな教育が推進されたまち 子どもに悪影響を与えない大人の振る舞いができるまち 子どもの行動や存在を認め、褒める文化があるまち 路上での飲酒・喫煙が禁止されたまち だんじり祭の神事性やマナー、子どもへの影響を考えられるまち	子どもの育ちや学びをしっかり支える仕組みが必要 教育環境が整っていないと、まともな子どもたちは将来地域を離れて戻らない 教育環境が整わない限り、子どもたちが活躍できるまちはならない。 口や態度が極端に悪い子がいることは、教育環境の質に問題がある証拠 教員だけでなく児童、生徒および保護者へのコンプライアンス意識の向上を図る 子どもに善悪をしっかり教育するまち 子どもが自由に過ごせる環境は大切だが、自由の範囲をきちんと注意できるまち 自分も他者も大切にできる教育が地域に根付くことが重要 子どもが悪いことをした時に、何が悪かったのか、どうすればよかったですをきちんと叱ってくれる大人が必要 教育はネガティブなものよりもポジティブなものが望ましい 子どもたちには尊敬できる大人が身近にいるまち 子どもに悪影響を与える環境では、家族は引っ越しを考える 大人が悪い見本を示すことで、子どもに悪影響が及ぶ 子どもの行動や存在を認め、褒める文化が必要 路上飲酒や路上喫煙が禁止されていることで、街の安全性が高まる 祭りであっても、社会のルールやマナーを守ることが重要 だんじり祭りが岸和田のイメージを悪化させている だんじり祭りが現在のように騒がしい状態では、子どもに悪影響を与える だんじり祭りは神事らしく厳かで慎ましやかなものにする
			●様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	●イベントに参加するなど、公民館や図書館を積極的に利用する	●様々な学習を手軽に行える機会を提供する	図書館の返却に関する利便性が向上したまち 幼児向け本の充実など学習資源が充実したまち 本を読むことは子どもの学力向上につながる
	郷土の歴史や文化が引き継がれている	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	●芸術や文化に積極的に触れる ●芸術・文化活動の機会や場を自らつくり、広げる	●芸術や文化に触れる機会を提供する	祭り以外の岸和田の良さや文化財の魅力が伝えられるまち 年齢・性別・障害等に関係なく参加できる祭りがあるまち 安心して楽しめる祭りの意義が考えられるまち 参加者全員で協力し、祭り後も街を美しく保つことができるまち	岸和田の魅力はだんじり祭り以外にも多く存在し、それらを子どもたちに知ってもらう 岸和田の祭り以外の名産や文化財の認知拡大が必要 祭りは岸和田市民だけでなく誰でも参加できるべき 年齢や性別、障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめる祭りを目指す 祭りは騒ぎたいだけの人の集まりにしてはいけない 本来の祭りは、誰もが安心して楽しめる場である 祭りの後片付けもみんなで協力して楽しみながら行い、祭り前より綺麗にする
健康で自分らしく生きられるまち	平和で多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	個々の人権や多様な価値観の尊重意識をあげるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	●地域の人にあいさつや声がけを行い、関係性を築く ●様々なマイナリティへの理解を深める ●他国の文化や価値観などを知り、理解を深める ●新しい人権問題などに关心をもつ ●国際交流のイベントなどに参加する	●多文化に触れる機会や場を創出するなど、他者理解を促進する	自分の価値観や希望を持てるまち 他者の立場や考えを尊重し合うまち ちょっとした親切や配慮が根付くまち 親切に対して感謝を伝える習慣があるまち 現代社会特有の問題に取り組めるまち 多様性の尊重について考えられるまち 誰もが手話で話せるまち 心のバリアフリー化が進んでいるまち	様々な人が自分らしく生きていけるよう支援が必要 市民同士が自己理解と他者理解を深めることが重要 自分のやりたいことに取り組める環境が重要 思いやりは一方通行ではなく、互いに理解し合うことが大切 日常的にちょっとした気遣いができる社会 親切な行動には感謝の気持ちを表現する 現代社会では課題が増えすぎている 多様性の尊重にも限界がある 市全体で手話でコミュニケーションができる環境 精神的にも身体的にもバリアフリー化が進んでいるまちが必要
	地域で支え合い、助け合える関係が築けている	常日頃から、地域の中でお互いに助け合える地域共生社会の関係づくりを進める	●近隣との交流を深め、つながりをつくる ●見守り活動やリビング活動など、地域の福祉活動に積極的に参加し、地域の取組に触れる	●困ったときに、地域の中でお互いに助けあえる関係づくりを支援する	ストレスの少ない、安心して暮らせるまち	市民が心にゆとりを持てる生活環境を整える 市民が心の余裕を持てるまち
	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている	生活困窮者などに必要な支援を行う	●困りごとや悩みごとがあれば、地域の人や専門機関に相談する	●生活に困窮する市民が安定した生活を送れるよう経済的支援や自立支援を行う	所得や状況に応じた支援制度の充実したまち 既存の枠にとらわれず、困っている人全てに支援を届けられるまち	市民が経済的余裕を持てるまち 支援制度は既存の枠にとらわれず、困っている人すべてに公平に届ける
安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送られている	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	●交通ルールやマナーを守る ●交通安全活動に積極的に参加する ●子どもの安全見まもり隊に参加するなど、地域の子どもと顔をあわせた交流をする	●交通ルールやマナー、交通安全意識の高揚と対策を図る	住民の交通ルール・マナーが遵守されたまち 交通ルールを知らない人の教育が充実したまち	住民一人ひとりが交通ルールやマナーを守ろうとする姿勢が、安全なまちづくりに不可欠 交通ルールを知らない人がいないまちが安全なまち 交通ルールを知らない人が増えていることが交通安全上の問題
		空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	●所有する空き家などを確認し、適切に管理・利活用する ●空き家を放置する危険性を理解する	●危険な空き家の情報を把握するとともに、空き家の管理・利活用を支援する	空き家や古民家を地域資源として活用しているまち 古民家解体後の廃材などを無駄なく活用するまち 他県からも人が集まる施設があるまち	新しいものを作るだけでなく、空き家を再利用し歴史と自然を残す 古民家の維持が難しい場合、解体後の廃材は余さず利用する 空き家を活用して他県からも人が集まる施設を作る
	防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	●所有する建物の管理を適切に行う	●良好な住環境の創出を促進する	修繕費や耐震補助など古民家維持のための支援があるまち	古民家の維持のために修繕費や耐震、白アリ駆除などの補助が必要	
		●地域の防犯活動に参加する ●防犯知識の習得や防犯グッズの活用などを行い、窃盗や特殊詐欺など、身近な犯罪に対する防犯意識を高める	●地域の自主活動を支援する	防犯カメラが設置されているまち 警察や地域の見回り活動が盛んなまち 事件・事故発生時の町内放送などによる情報共有ができるまち 街灯の設置され、明るいまち	防犯カメラが多く設置されていることが、安心できるまちの条件 警察による見回りや講演は住民の安心感につながる 事件発生時には町内放送などで情報共有を行なべきだ。 街灯が少なくて暗い道は安全ではない 大通りが多く明るいまちは安全だと感じる 街灯の設置を増やすことで、夜間の安全性が向上する	
		●市民一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪の防止に取り組む	●軽犯罪や迷惑行為への対応が迅速にすすめられているまち	小さな犯罪や落書きが放置されていると、街の安全性が損なわれる		

基本目標	個別目標	個別目標の方向性	個人や家庭の役割(一部抜粋)	行政の役割	(意見抽象化)	(意見概要)
人と自然が共生した住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	まちの美化を進める	<ul style="list-style-type: none"> ●一人ひとりがマナーを守り、不法投棄やポイ捨て、落書きなどをしない ●普段の生活の中で、ごみ拾いを習慣化するなど、美化意識を向上させる ●ペットは責任をもって飼育する 	<ul style="list-style-type: none"> ●衛生的で清潔なまちをつくる 	落書きがないまち	落書きが多い街では、他の街と同じ対策では不十分であり、より積極的な対策が必要 落書き対策は町会や団体任せにせず、市全体で積極的に取り組む 町中の落書きが多いことが、まちの未来に悪影響を与える 町全体で落書きを一斉に消すイベントを実施することが、落書き対策として有効
					ごみやポイ捨て、フンの放置などがないまち	落書きやごみ、フンの放置が多い街は、清潔さや美観が損なわれている 道にゴミが落ちていないことが、安全なまちの条件 町にゴミがあることで、子どもたちの公共マナーが悪化している ポイ捨てが多すぎる現状は改善すべき
					歩道や公共スペースの雑草の管理ができるまち 路上での喫煙や飲酒の禁止が徹底されたまち	歩道の雑草がきちんと管理されていることが、安全なまちの条件 岸和田市でも路上喫煙を禁止すべき 歩きタバコや自転車タバコは禁止 路上飲酒・路上喫煙の禁止を徹底
	人が緑と触れあっている	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	<ul style="list-style-type: none"> ●自宅や地域の緑化を推進する ●公園などの公共空間をみんなが快適に利用できるよう努める 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の緑化意識の向上と地域緑化の推進を図る ●市民に親しまれる親水空間や公園づくりを推進する 	バラや桜など地域の花や樹木を育てる活動が盛んなまち 自然の豊かさを維持するまち 公園など公共施設へのごみ箱が設置されたまち 自然を活かした憩いの場の整備されたまち	地域の花であるバラを市内各地で育てる お城の桜の老木に代わる次世代の苗木を植える 自然豊かで歴史あるまちを維持する 公園にゴミ箱がないと利用者が減る 憩いの場所をもっと作る
					ごみ袋を周知するとともに、ごみの減量化や資源の有効活用を推進する ごみを適切に処理する	ごみ袋を安くする ごみ回収などの清掃活動に感謝する
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつぐられて いる	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める 省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	<ul style="list-style-type: none"> ●エコバッグやマイボトルを利用したり、環境に配慮した製品を購入する ●食品ロスの削減や節電など、普段の生活の中で脱炭素を意識した行動を心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ●3R+Rを周知するとともに、ごみの減量化や資源の有効活用を推進する ●ごみを適切に処理する ●食品ロスの削減や節電など、普段の生活の中で脱炭素を意識した行動を心がける ●省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進する 	再生プラスチックや廃材利用、ごみ袋代がやすいまち プラスチック削減を促すポイント制度やイベントがあるまち ごみ袋の価格や廃材再利用による生活コストの低減されたまち	再生プラスチックや廃材を再利用したものにする プラスチック削減に貢献した人にポイントなどの得点を与えるイベントを実施する ゴミ袋の価格が高すぎるので、廃材をゴミ袋として再利用する
					●農地の適正な保全・活用を支援する ●積極的に地産地消に努める	荒れた農地や自然を整備し、活性化したまち 岸和田市産農産物が活性化したまち 海産物や農産物、自然環境の魅力が発信されるまち 地域農業の発展を目指す取り組みが推進されたまち
にぎわいと活 力を創造するまち	活発な経済活動が行われて いる	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の産業の魅力を知り、発信する ●積極的に地産地消に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ●農地の適正な保全・活用を支援する ●地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う ●農業・漁業生産を維持するための支援を行い、地域で消費できる環境を整える 	荒れた農地や自然を整備し、活性化したまち 岸和田市産農産物が活性化したまち 海産物や農産物、自然環境の魅力が発信されるまち 地域農業の発展を目指す取り組みが推進されたまち	放置されている自然をもっと活用する 荒れた農地を整備し、農地として活性化させる 岸和田市産の農産物の振興 海産物や農産物、自然の豊かさをもっと市内外に発信する 農業を発展させる
					だんじり祭りなどの伝統行事の魅力が発信されるまち 岸和田の歴史や観光資源が活用されたまち 眠っている資源が活用されたまち 市と民間が協力する組織で事業が推進されたまち 市民の関心を高める花火や流行を取り入れたイベントが開催されるまち	だんじり祭りは岸和田市の最大の魅力 だんじり祭りを活気や魅力として宣伝するなら、もっと神事らしく綺麗にする 岸和田の歴史を市内外に発信する 地域に眠っている資源をもっと活用する 市と民間が協力する第三者委員会のような組織を作り、大胆な事業を進める 流行を取り入れたイベントを開催することで市民の関心を高める
	観光資源が活かされている	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ●観光資源を知り、SNSなどを活用した情報発信を行う ●観光客におもてなしの心で接する 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光資源の磨き上げや新たな観光資源の創出を支援する ●観光施設の管理・運営など、観光客の受け入れ体制を整える 	だんじり祭りなどの伝統行事の魅力が発信されるまち 岸和田の歴史や観光資源が活用されたまち 眠っている資源が活用されたまち 市と民間が協力する組織で事業が推進されたまち 市民の関心を高める花火や流行を取り入れたイベントが開催されるまち	だんじり祭りは岸和田市の最大の魅力 だんじり祭りを活気や魅力として宣伝するなら、もっと神事らしく綺麗にする 岸和田の歴史を市内外に発信する 地域に眠っている資源をもっと活用する 市と民間が協力する第三者委員会のような組織を作り、大胆な事業を進める 流行を取り入れたイベントを開催することで市民の関心を高める
					海産物や農産物、自然環境の魅力が発信されているまち 良いお店や商店街の情報が発信されるまち SNSなど現代的な手法による魅力が発信されるまち	だんじり以外の岸和田の魅力も市内外に発信する 地域の良いお店の情報発信力がまちの魅力につながる SNSを活用して地域の良いお店を広く周知する
	岸和田の魅力が伝わっている	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	<ul style="list-style-type: none"> ●まちのイメージ向上につながる取組を進めるとともに、SNSなどを活用した情報発信を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●幹線道路や市道の整備・管理を行い、適切な道路ネットワークを形成する 	一方通行や道の分かれづらさなど道路環境の改善したまち	一方通行が多すぎると、知らない道を利用しにくくなるため、道路環境の改善が必要 交通インフラには制限がかかることが多く、改善の余地がある 道路の一方通行が多すぎたため、道が分かりづらく移動しにくい
					バスや電車などの公共交通機関の利便性が向上したまち 高齢者が安全に移動できる交通手段の確保されたまち 人が行き交う活気あるまち	山手地域から市役所や保健センター、警察署への直通バス路線を整備する 山側から海側までの交通の便が良い町が理想 バスなどの公共交通をもっと利用しやすくする 公共交通が充実すれば高齢者の車の運転が減る 人が行き交うことでまちに活気が生まれる
みんながつくる持続可能なまち	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	拠点とのアクセス性の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車だけでなく、路線バス・コミュニティバスなどの公共交通機関を積極的に利用する ●徒歩や自転車など多様な移動手段を確保・活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の特性に応じた最適な交通手段の検討・構築を進める 	電柱を地中化し景観や安全性が向上したまち	岸和田市でも電柱の地中化を進める
					経済発展と環境保護の両立したまち 住みやすい環境やインフラの整備が進んだまち	工場や施設の利便性を重視しすぎると景観や空気の質が損なわれる可能性がある 市内外から住みたいと思ってもらえるまち
		適正な土地利用と景観形成を進める	<ul style="list-style-type: none"> ●景観を大切にし、景観に配慮したまちづくりを進める ●計画的で適正な土地利用や都市施設の配置を誘導する 	<ul style="list-style-type: none"> ●良好なまちなみと景観の形成を推進する ●住みやすい環境やインフラの整備が進んだまち 	電柱を地中化し景観や安全性が向上したまち	岸和田市でも電柱の地中化を進める
	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のコミュニティ活動やボランティアをはじめ、地域のまちづくり活動や運営に積極的に参加する ●自治基本条例や市の取組に興味をもち、理解・参画する 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民との情報共有を推進する 	住民同士の会話や協力があるまち 祭りやイベントを活用した安全活動が行われるまち 祭りでできた地域力を活かしているまち 市民と行政が率直に意見交換できる環境があるまち	町会や団体に加入していくなくても、住民同士が笑顔で会話できることが安全なまちにつながる 祭りなどのイベントを活用して、住民が協力し合う安全な街づくり 祭りの輪を活用した地域活動を行う 市民と行政が本音で話し合える環境
					市民の意見や要望をまちづくりに反映する仕組みがあるまち 市民の意見を取り入れるまち 市民や行政がまちづくりに関心を持つための工夫がされたまち 一人ひとりが自分事としてまちづくりを考える意識をもったまち	市民の声を十分に聞かずにはまちづくりを進めるべきではない 市議会などの行政機関が市民の声を反映できていない 市民の意見を聞く姿勢がまちづくりには重要 市民も行政もまちづくりに対して関心を持つべき 市民一人ひとりが地域の問題を自分事として考えることが重要 市民の自己中心的な行動がまちづくりの妨げになっている 市民一人ひとりがまちづくりを自分ごととして考えることが重要 自分の都合だけで主張するのではなく、まちづくり全体を考える

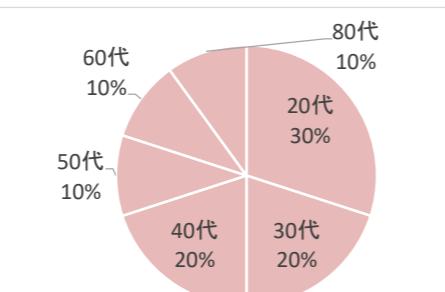
●意見発出者の分析

性別



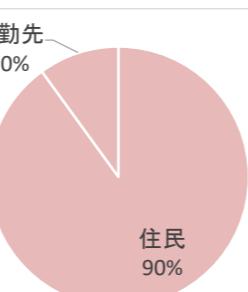
女性の割合が多い

年代



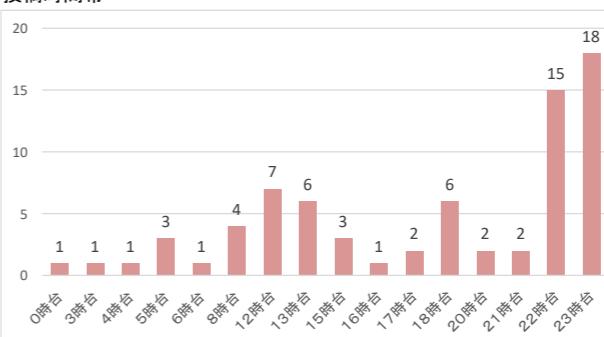
20-30代50%

住民区分



住民が90%

投稿時間帯



夜間の投稿が多い